

プログラム番号	07006
---------	-------

平成19年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	金沢大学大学院医学系研究科		
②学長名	林 勇二郎		
③所在地	〒920-1192 石川県金沢市角間町		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	金沢大学宝町地区事務部学生課・副課長	
	担当者氏名	釜谷 俊夫	e-mailアドレス t-gaku2@ad.kanazawa-u.ac.jp
	電話・FAX番号	電話:076-265-2126 ・ FAX:076-234-4208	
⑤ホームページ URL	http://www.kanazawa-u.ac.jp/		
⑥大学院在学留学生数	221人(うち、国費留学生 92人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	英語による国際総合医学コース
②プログラムの形態	博士課程(修業年限4年)
③交流形態・受入体制	プログラム実施大学が単数
④実施研究科・専攻	医学系 研究科 がん医科学 専攻
	(所在地) 石川県金沢市宝町13-1
⑤連携大学・研究科・専攻名	金沢大学大学院医学系研究科 脳医科学専攻・循環医科学専攻・環境医科学専攻
⑥受入れ学生数	10人(うち研究留学生優先配置人数: 6人) (うち日本人学生数: 2人)
⑦担当教員数	合計 293人(うち専任: 278人、兼任: 4人、非常勤: 11人)
⑧研究科長(代表者)名	所属部局・職名 医学系研究科・教授
	研究科長名 中沼 安二

【3. プログラムの内容】

I. 開設の目的と趣旨

金沢大学大学院医学系研究科では、研究留学生に留まらず、優秀な私費外国人留学生と日本人学生も対象とし、広い学識と優れた指導能力を習得させて、国際的な研究能力を涵養する教育の充実を図り、本学の研究者と共に、アジアを中心とする世界の医学課題の解決に貢献できる医学研究者を育成することを目的として「英語による国際総合医学コース」を開講する。

II. プログラムの内容

- 1) 学生定員: 研究留学生6名, 私費留学生2名, 日本人学生2名, 合計10名
- 2) 募集対象: 外国または日本において学校教育における18年の課程を修了したもので、および入学する年の9月修了見込みのもので、大学間交流協定校、部局間交流協定校および顕著な学術上の実績を持つ教育研究機関出身者を募集対象とする。
- 3) 選抜方法: 研究科長・専攻長等からなる博士課程運営委員会により、a) 大学／大学院修士課程の成績、b) 英語力 (TOEFL, TOEIC により判定)、c) 面接 (インターネットの利用可)、などにより総合的に選抜する。また、選抜には出身校のアカデミックレベルや本校との国際交流実績を考慮に入れる。
- 4) 教育カリキュラムの内容と特色 (図 2): 医学系研究科はがん・脳・循環・環境医科学専攻という目的重点型の4専攻からなる。本プログラムでは、がん研究所及び附属病院を含む医学系研究科の全専攻が参加し、英語による全分野での教育・研究を可能としている。新カリキュラムは以下の特色を持っている。
 - ・講義・演習・実習レベルの体系化
 - ・全てのレベルにおけるシラバスの作成
 - ・全てのレベルにおいて英語で行う科目を設定
 - ・演習レベルにおける学会・上記個別プログラムへの参加単位の認定
 - ・国際学会への参加・発表の奨励と単位認定
- 5) 使用言語: 全ての講義・演習・実習・論文作成指導を原則として英語で行う。
- 6) 本プログラムの修了認定条件
 - ・必要単位数を取得: (a) 全人教育を目的とした初期総合科目(4単位)、(b) 自らの研究分野科目(12単位)、(c) 基礎・臨床融合型の専攻科目(12単位)、および(d) 副専攻科目(2単位)を修得すること。
 - ・学位論文の主要な部分が本人執筆の論文として英文学術誌に掲載、または掲載予定。
 - ・英語で実施される論文審査をパスすること。

III. 教育・支援体制

留学生が安心して教育を受け、研究活動を行えるように、また、標準修業年限内に学位を取得できるように以下の体制をとる(図1, 2)。

- ・英語による国際総合医学コース支援室を設け、留学生の学業・生活・就職支援を行う。
- ・本コースの全ての講義、演習、実習科目について英文シラバスを作成し、講義日程とともに Web 上で公開する。
- ・学生の到達目標、成績評価基準を英文で明記する。
- ・複数の教員による指導体制をとる。
- ・上級生が下級生を指導するシニアチューターシステムを実施する。
- ・プロジェクト・プロポーザル審査会を一年次に開催して、学位論文テーマの選定と研究デザインに関する指導を行う。

図1. 英語による国際総合医学コースの支援・評価体制

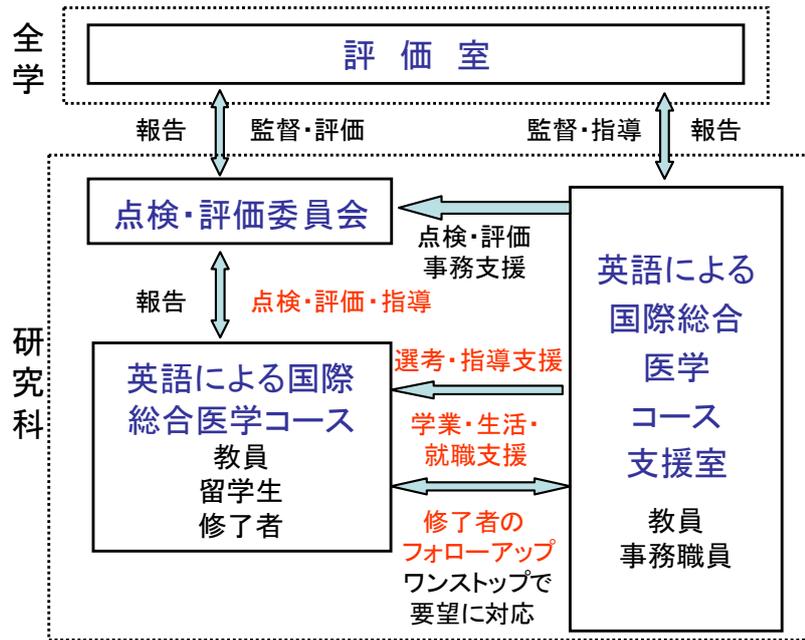


図2. 英語による国際総合医学コース

